

解雇問題を解決し
安全・安心のJALを

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No.914(32-24) 2018年3月14日

生活苦しい54%、人員不足88%

やっぱり賃上げ・人員増必要

「安全が低下している」46%

18年春闘統一アンケート結果

生活実感	かなり苦しい	18.0%
	やや苦しい	36.0%
	まあまあだ	34.0%
	ややゆとりある	8.4%
	ゆとりある	3.7%
人員	不足している	88.1%
	足りている	11.9%
業務実態	忙しくなった	46.4%
	相変わらず忙しい	24.9%
	変わらない	26.6%
	楽になった	2.1%
関心事(3つ選択)	健康不安	27.1%
	雇用不安	9.9%
	航空安全への不安	13.3%
	技術力・スキル低下	16.4%
	旅客サービス低下	4.6%
	労働条件切下げ不安	17.5%
安全	組合力低下	11.2%
	安全は向上している	10.8%
	安全は低下している	46.2%
	どちらとも言えない	43.0%
	ヒヤリハット経験	30.6%
	ヒヤリハットなし	69.4%
年休取得	全く取得できず	1.6%
	ほとんど取得できず	11.6%
	ほぼ取得できた	66.3%
	全て取得できた	20.5%
	希望通り取得できなかった	26.9%
	希望通り取得できた	73.1%

航空連が取り組んだ「18年春闘統一アンケート」によると、生活について54%が生活苦を実感し、職場の人員については約9割が「不足している」と答えています。職場の安全については46%が「安全が低下している」と感じています。航空各社の好調な業績の一方で、働く側の暮らしや職場改善は進まず、職場の安全も十分でないことを裏付ける結果となりました。

解消されない繁忙、割が健康不安

生活実感については、「かなり苦しい」「やや苦しい」を合わせ54%が生活の苦しさを訴えています。職場の人員については「足りている」11.9%に対し、「不足している」88.1%と圧倒的多数が人員不足と感じています。業務実態では「忙しくなった」「相変わらず忙しい」を合わせ71.3%に上り職場の繁忙状態を裏付けました。関心事の上位3つは「健康不安」27.1%、「労働条件切り下げ不安」17.5%、「技術力・スキル低下」16.4%でした。過去数回のアンケートでも同様の傾向にあります。職場の安全では「安全は向上している」10.8%に対し、「安全は低下している」46.2%と約半数は安全が低下したと感じています。ヒヤリハットについては「ヒヤリハット経験」30.6%と3人に1人がヒヤリハットを経験しています。年休取得では、「全く取得できず」「ほとんど取得できず」を合わせ13.2%が取得できていない状況にあります。また、4人に1人は希望通りに取得できていません。



深刻なヒヤリハット事例も

アンケートには、整備中の不具合や乗務中に体験した事例、グラハン職場での事例など深刻なヒヤリハットも寄せられました。

「配線を切断する作業の際に、他の作業者が機体電源をオンにしたのでヒヤリとした」「重大インシデント後に社内規定が頻りに改定され、最新版の周知にみんながついていけず、現場の統一が図れない」。客乗職場からは「自分の担当でないドアモード変更をしそうになった。(その人は)いつも担当する側のドアが同じだったので間違えそうになっ

たと言っていた」「旅客カウントミスがあったにも関わらず、類似のミスが何度かあった。客乗は時間と接客に追われ、地上は定刻・定刻と言う。人もいないし新人も多く不慣れな作業になっている」「イレギュラーフライトになり次便までの時間が18時間程度しかなかった。深夜1時過ぎに終了しその日の夕方からホノルル便に乗務。連続の夜間の仕事で意識はもうろうで集中できず、倒れそうで怖かった」。グラハン職場からは「多方面に発送する貨物を単独で器材に積み込まなければならない。綱渡り作業で確認が疎かになる」など、インシデントと紙一重の状況が寄せられました。

財務省 森友文書改ざん

学校法人「森友学園」への国有地売却を巡り、14件の決裁文書に改ざんがあることを財務省が認めました。前代未聞の出来事で、麻生財務大臣はもとより安倍首相の責任が問われます。安倍首相や妻の昭恵氏が学園に関係したことをうかがわせる部分が削除されていたほか、政府が否定してきた事前の価格交渉の記述も削られていました。財務省は国民の代表で構成される国会に改ざん文書を提出して欺こうとしていたのです。